

令和5年度 学校評価



八幡小学校

八幡小学校 令和5年度 学校評価の総括

【1】学校教育目標

- やさしく、思いやりのある子
- わかるまで考え、努力する子
- たくましく、明るい元気な子
- がんばっている自分に誇りを持てる子

【2】学校経営方針の基本理念

- 児童一人一人を大切にし、心豊かな人間性を育てる。
- 児童の学習意欲を高め、学力の向上と創造性を引き出す。
- 生命尊重の精神を基本に、心身ともに健康でたくましい児童の育成に努める。
- 自尊感情を持ち、自ら気づき・考え・行動できる児童の育成に努める。

【3】学校評価の方法

①自己評価の実施（7月・10月）

②児童・保護者アンケートの実施（10月）

※保護者が本校の教育活動を理解した上で評価できるように、活動内容の説明を提示する。
理解が不十分な場合は、4段階評価の他に【わからない】という項目を設定する。
アンケートは記名式とし、回答に責任を持っていただく。

③学校運営協議会での学校関係者評価の実施（11月）

評価委員（区長会長・社会教育委員・公民館長・民生児童委員
・元小学校校長・PTA会長・前PTA会長）

④保護者への公表（12月）

⑤市教育委員会へ学校評価報告書の提出（3月）

【4】評価基準

全体傾向を把握するため、4・3評価を肯定的評価とし、それらの合計が80%を超えている場合は『満足できる状況』と判断した。また、2・1評価を否定的評価とし、それらの合計が20%を超えている場合は『改善の余地がある状況』と判断した。

（4 そう思う 3 だいたい思う 2 あまり思わない 1 そう思わない ○ わからない）

【5】評価の結果について（児童・保護者・職員によるアンケート結果）

①全体評価

- ・今年度も、年度当初は感染症予防のため、様々な教育活動の実施が難しかったが、5類移行後は感染症対策を講じながら教育活動を行ってきた。徐々に協働が必要な学習指導や地域との連携などを

計画通りに進めることができるようになってきた。学校教育は、協働的な学び合いの中で行われる特質を持っている。これからも、学校教育ならではの学びを大事にしながら、子供たちの健やかな学びの保障と感染症対策の両立を進めながら教育活動を進めていきたい。

- ・評価の結果を見ると、感染予防の対策を取った上での教育活動だったが、総合評価は、概ね良好な水準（職員・児童・保護者アンケートの結果は、ほとんどの項目で肯定的評価）となった。
- ・児童アンケートでは、全21項目のうち20項目が『満足できる状況』となり、そのうち13項目が90%以上の肯定評価となった。「読書活動」（73%）、「先生への相談」（81%）がやや低い評価となった。
- ・保護者アンケートでは、全21項目のうち17項目が『満足できる状況』となり、そのうち14項目が90%以上の肯定評価となった。「読書活動」（53%）、「スマホ・ゲームの使用」（59%）、「英語への興味関心」（63%）、「家庭学習」（53%）については、低い評価となった。この項目は、改善の必要がある項目となった。「いじめの未然防止・早期発見・早期解決」（81%）、「あいさつ」（79%）がやや低い評価となった。「わからない」と答えている項目も14項目もあり、特に「いじめの未然防止・早期発見・早期解決」（17%）が、高かった。学校の教育活動の情報発信について改善していく必要がある。
- ・教師のアンケート結果は、全26項目で肯定的評価が80%を超えており、7月の評価同様、肯定的な評価が高いことを示している。おおむね満足できる状態であると判断できる。

②領域ごとの結果分析

◎確かな学力の育成について

- ・「家庭学習」の項目では、保護者が低い評価となった。宿題はやるが、自主学習まで取り組まない児童も多く、家庭学習の習慣化が課題である。宿題の出し方の工夫、「きりっ子ノート」の取り組みの工夫（家庭学習スタンバイの時間の設定）など、引き続き、家庭と協力しながら家庭学習の習慣化等に取り組んでいきたい。
- ・「読書活動」については、保護者、児童とも低い評価となった。学校では、様々な読書の取り組みを行ったが、子供達の家庭での読書活動につながっていないようである。読書をする時間の確保のため、アウトメディアの取り組みも必要である。
- ・年度当初は、感染症の感染防止のため、授業において様々な制限があったが、5類移行後は、通常の授業に戻りつつある。引き続き、ICTを活用するなど工夫して学習が進め、授業改善を進め、分かる授業を進めていきたい。

◎豊かな心の育成について

- ・「いじめへの取り組み」は、全職員で未然防止・早期発見・早期解決に取り組んできた。しかし、保護者の評価はやや低い結果となった。また、17%の保護者の方が「わからない」を選択しており、学校の取り組みが保護者に伝わっていない結果となった。引き続き、いじめアンケートの結果を知らせるなど、学校の取組等を保

護者に知らせていきたい。（２学期のアンケート結果を保護者へ知らせている。）

- ・「学校は楽しいか」の項目では、児童も保護者も評価が高かった。多くの児童が充実感を味わい、仲間と楽しく生活できている様子がうかがえる。しかしわずかではあるが「学校は楽しいですか」に否定的評価をしている児童もいる。児童を丁寧に見取り、一人ひとりに応じた支援を行っていききたい。
- ・新型コロナウイルス感染症が５類に移行したが、今後も、感染対策を行いながら児童が活躍できる行事や取り組みを行い、児童の自己肯定感、自信が高められるようにしていきたい。

◎健やかな体の育成

- ・「早寝早起き朝ご飯など基本的な生活習慣」については、児童の評価が低かった。本校では、長期休業の後に生活リズムを整えるためにチェックカードを活用して取り組みを行っているが、もう一歩進めるため、意識を高める取り組みが必要である。
- ・「スマホやゲームの使用」については、保護者の評価がかなり低かった。児童の評価はそれほど低くなく、児童の意識の低さが感じられる。全国学力学習状況調査でも本校の課題となっていた。スマホやゲームの長時間の使用は、生活習慣の乱れ、読書離れ、学力の低下、視力低下などにつながっていく。アウトメディアの取り組みなど、家庭と連携した取り組みが必要である。
- ・感染防止対策は、マスクの適切な着脱、健康観察など、家庭の協力を得ながら取り組み、感染症に気をつけた生活ができているか声をかけてきた。感染症予防について少しおろそかになっている面もあるので、引き続き学習も感染に気をつけながら進める必要がある。

◎家庭・地域との連携

- ・保護者アンケートで、「分からない」を選択した方も多く、学校や児童の様子、学校の取り組み等の情報発信をさらに工夫しながら行っていきたい。
- ・「先生に相談」の項目は、児童の評価がやや低く、１９％の児童が否定的な評価だった。困ったときも相談できない児童も少なくないと考えられる。児童には、担任だけでなく、他の先生にも積極的に相談してよいことを伝える。また、相談できず困っている児童がいることを前提に、児童観察を丁寧に行ったり、児童とのコミュニケーションを積極的に取ったりするようにしたい。

【６】八幡小学校学校運営協議会委員による学校関係者評価（１１月２４日）

◎概要

学校より、学校評価（職員・児童・保護者）の結果の報告を行った。職員アンケートでは、１学期と比べ改善された点（働き方・ICTの活用）や今後の更なる改善点

(感染症対策・学テの結果を受けた授業改善・家庭学習スタンバイ時間の設定等)について説明を行った。児童・保護者アンケートについては、評価の低かった点(読書活動・スマホやゲームの使用・家庭学習)や保護者の『分からない』の回答が多かった項目(学校のいじめの取り組み)について説明を行った。特に、『メディアの使用』『家庭学習』『いじめの取り組みの保護者への周知』等の課題については、学校より、今後の取り組みや改善案を示した。今後の取り組み・改善案については、委員のみなさんからの理解と賛同を得ることができた。

◎委員の方からの意見

- ・スマホやゲームの使い方や子どもが本を読まないことはどこの学校でも問題になっている。学校だけでなく、家庭とも連携して取り組む必要がある。
- ・学校現場は大変であると思う。先生の指導力は必要である。学級づくりは担任の力量に頼ることが大きく、担任が替わると学級が変わってしまうことがある。学校全体で学校力向上のプロジェクトに取り組む必要がある。
- ・1人の力ではやれることは限られている。学校のスタッフに頼ることも大事だが、地域の力を頼ることも必要である。
- ・先生に相談しにくいことについて、学校が多忙になっていて、教員が子どもと触れ合う時間が取れないと聞いている。忙しい中ではあるが、授業はもとより子どもとふれあいが大事である。時間を工夫してふれあいの時間を取ってほしい。

【7】おわりに

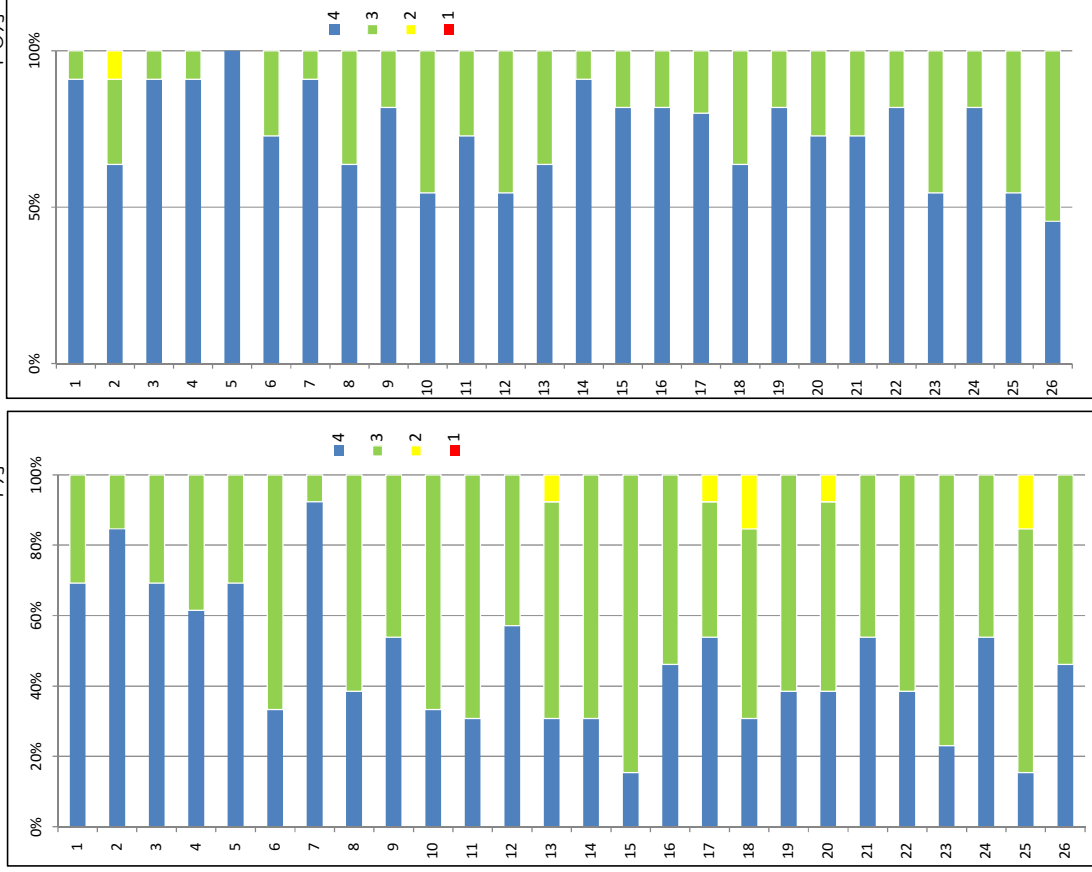
- ・今後も学校運営協議会委員の皆様や保護者・地域の方々からのご意見、ご指導をいただく中で、課題解決に向けた具体策を講じるとともに、信頼される地域に開かれた学校づくりに努めていきたい。そのためには、本校の教育活動についてのビジョンや学校の現状を保護者・地域に伝えていかなければならない。コロナ禍で失ったものの影響は大きい。外部・地域との連携が途絶えた中で、地域とのつながりを構築していくことが課題である。そのためには、更なる情報発信、地域との連携・協働を推進する組織づくりを進めていきたい。
- ・教職員の多忙化解消は、喫緊の課題である。学校の教育力を高めるためにも教職員の心身の健康が重要である。協働体制のさらなる充実、時間の効率的・効果的な活用・業務改善・行事の精選等、様々な工夫を試みていきたい。

令和5年度 学校評価2回目評価(職員)

4=そう思う 3=ややそう思う 2=あまりそう思わない 1=そう思わない

		RS職員による評価				
		4	3	2	1	
学校 組 織 運 営	① あなたは、学校経営構想（グラントデザイン）に基づく教育活動を推進している。	10	1	0	0	
	② あなたは、安心・安全な学校環境づくりに向け、課題把握とその改善を進め、危機管理体制の充実を図ることができている。	7	3	1	0	
	③ あなたは、個人情報保護・情報セキュリティの観点から諸表簿や文書、記録媒体を適切に管理している。	10	1	0	0	
	④ 組織的に行っている。	10	1	0	0	
	⑤ あなたは、本校の「いじめ防止基本方針」を理解し、それに基いた取り組みを行っていることができる。	11	0	0	0	
	⑥ あなたは、効率的・効果的な業務の遂行に向け、自身の働き方を意識したり、業務の改善を図ろうとしていたりしている。	8	3	0	0	
	⑦ 本学校では、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を組織的に推進している。	10	1	0	0	
確かな学力の育成	⑧ あなたは（本校では）、学習指導のねらいの明確化など、児童にとって分かりやすい授業の実現に努めている。	7	4	0	0	
	⑨ あなたは（本校では）、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る授業に取り組んでいる。	9	2	0	0	
	⑩ あなたは（本校では）自ら思考し、表現する場面を取り入れた学習指導に取り組んでいる。	6	5	0	0	
	⑪ あなたは（本校では）、児童一人ひとりの学習状況を把握し、個に応じた指導を行っている。	8	3	0	0	
	⑫ あなたは（本校では）、英語科教育の目標を達成するために、授業の充実を図っている。	6	5	0	0	
	⑬ あなたは（本校では）、学習目標を達成するために、端末や電子黒板等、ICTを活用した授業を実施している。	7	4	0	0	
	⑭ あなたは（本校では）、学級力向上やQ・U等の結果を活用し、児童にとっても楽しい学校・学級づくりに取り組んでいる。	10	1	0	0	
豊かな心の育成	⑮ あなたは（本校では）、道徳科の授業や日常の通達指導を通して、児童の道徳心を養っている。	9	2	0	0	
	⑯ あなたは（本校では）、児童理解に努め、個に応じた指導をし、たり、良い点やがんばりを評価しほめてあげている。	9	2	0	0	
	⑰ あなたは（本校では）、児童が基本的な生活習慣を身につけることができるよう指導を行っている。	8	2	0	0	
	⑱ あなたは（本校では）、体育科の授業や身体育の活動に取り組みながら、児童が楽しんで主体的に参加できるように工夫している。	7	4	0	0	
	⑲ あなたは（本校では）、児童の主体的な健康増進・感染防止に関する態度の育成に努めている。	9	2	0	0	
	⑳ あなたは（本校では）、給食指導などを通じ、児童の体の基礎をつくる食育の充実にも努めている。	8	3	0	0	
	㉑ あなたは（本校では）、交通安全等を未然に防ぐこと、子どもたちが自分で自分の身を守る能力を育てることができるよう、安全教育に取り組んでいる。	8	3	0	0	
健康な体の育成	㉒ あなたは（本校では）、家庭に適切な情報発信・情報提供を行っている。	9	2	0	0	
	㉓ あなたは（本校では）、家庭学習の充実のため、内容の工夫・家庭との連携に取り組んでいる。	6	5	0	0	
	㉔ あなたは（本校では）、児童や保護者からの相談に丁寧に応じている。	9	2	0	0	
地域との連携	㉕ 本校は、地域の調査や人材を活用した教育活動を行っている。	6	5	0	0	
	㉖ あなたは、学校運営協議会の内容を理解し、地域と共にある学校教育の推進に努めている。	5	6	0	0	

職員記述なし



◎ 全体的な傾向
全項目で肯定的評価が80%を超えており、7月の評価と同様、肯定的評価が高いことを示している。おおむね満足できている状態であると判断できる。

(1)学校組織運営 一人ひとりがグラントデザインを十分に理解し、様々な場面で学校長が示す方針等の実現に向けて、組織的に連携しながら推進していく。

・学校活動にも各行事や様々な教育活動の振り返り反響を生かし、改善へとつなげるようにする。

・危機管理(防火、防災、事件、事故等)マニュアルや感染予防マニュアル、熱中症対応マニュアル等を理解し活用していききたい。

また、訓練等の結果を踏まえ、マニュアルの見直しを行う。

・感染症防止対策については、5月に変わり、児童、保護者だけでなく職員にも、ややらの鑑みが見られ、インフルエンザの季節もあったので、今後も感染拡大に配慮されることから、感染症マニュアル等の確認を行い、地域の感染状況に即し対策を徹底していくつもり。

・ためにより効果的向上プロジェクトの実施、QURの活用等)、児童観察を丁寧に 行っている。早期発見に努めたりしている。いじめについての記録方法について改善を行ったので、それを活用し、きめ細かい対応を行っていく。また、保護者にも取組を知らせていく必要がある。

・毎週土曜日の事務処理日を設定するなど、業務改善を行っている。

職員の勤務時間の記録や職員アンケート結果からも、働き方に関する意識の改善が見られる。今後業務の精進、校務効率化の効率化なども進めていく。

(2)学力向上の育成

・国語主幹の授業分析を行い、職員で共通理解を図ることになり、全ての学年で課題(国語)を改善できるように授業づくりを行う予定。

・子どもたちの学習態度、授業中の質問を今年度で活用し、児童の字が向上しただけでなく、教師の授業改善にもつながる。主体的・対話的で深い学びを行う、山梨県「主体的・対話的で深い学び」の理念に向けて、出題スタンスは、話が上手に行っている。

・活用した上で活用しては、積極的に学年毎に整理し、後は児童が習得すべきものとしていく。

(3)豊かな心身の育成

・今後も全職員で児童理解が行えるよう、毎週金曜日の終礼と職員会議において、情報交換を行い、職員が同じ歩調で、児童の指導を行っていく。

また、児童理解のためのケース会議も行う予定です。

・真実の生活習慣については、児童への指導だけでなく、保護者への協力をお願いなど、繰り返しお願いしていく。特に児童のSNS等のメディアの使用については、大きな課題が見られるので、様々な場面での、様々な方法で、児童や保護者の動きの変化を行っていく必要がある。

(4)健やかな体の育成

・運動をする機会が少ないこの二極化も課題である。一校一向上を目指して、休み時間の活動や体育等で体力を向上させるべく、休み時間につながる取組を進めている。また、体育の授業においても運動量の確保を意識していく。

(5)家庭・地域との連携

・今年度は、地域や近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校など、4年間コロナ禍の影響で、外部・地域との連携が難しくなりつつあり、地域の状況がまだ残ったままの状態が続いている。保護者地域の方と教育活動を連動させたいという意欲がある。保護者が家庭学習をサポートしたいという意欲もある。家庭学習スキルアップの時間を設けるなど、児童が家庭学習を進めるような工夫をしている。

令和5年度児童アンケート

4=そう思う
3=ややそう思う
2=あまりそう思わない

1=そう思わない

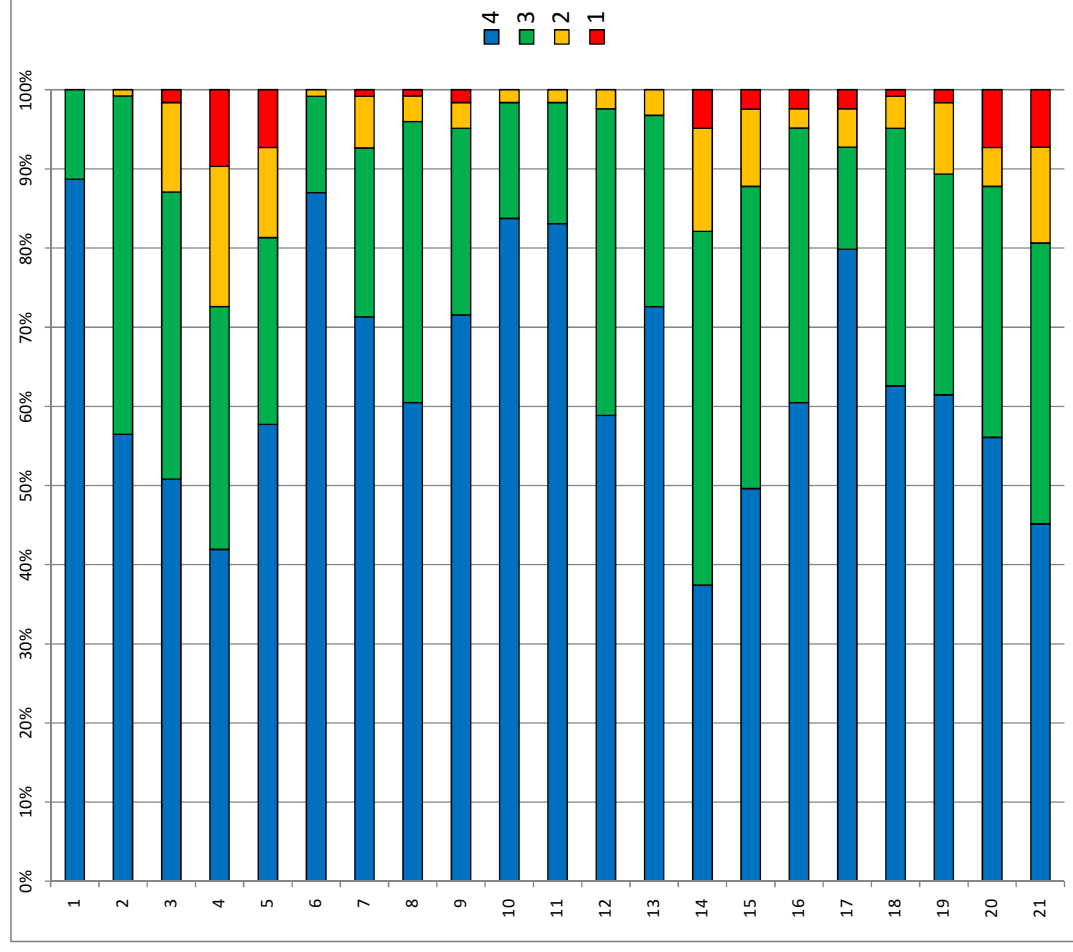
出 不	出 道	
--------	--------	--

R05 児童による評価			肯定	否定
①	先生は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。		100%	0%
②	あなたは、授業中に、自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いていますか。		99%	1%
③	あなたは、家で毎日勉強をしていますか。 (学年×10分+10分)		87%	13%
④	あなたは、学校や家で読書をよくしていますか。		73%	27%
⑤	英語の勉強は、すきですか。		81%	19%
⑥	先生ははじめなどない楽しいクラスになるように考えてくれていますか。		99%	1%
⑦	学校は楽しいですか。		93%	7%
⑧	あなたはうそをついたり、やってはいけないことをしたりしないように気を付けていますか。		96%	4%
⑨	先生はあなたのことをよくわかってくれていると思いますか。		95%	5%
⑩	あなたは、学校や児童会、クラスの行事などに、一生懸命取り組み、楽しいですか。		98%	2%
⑪	あなたは、あいさつができてきていると思いますか。		98%	2%
⑫	あなたは人にやさしくしたり、困っている人に手をかしてあげたりするなど、思いやりの心をもって生活していますか。		98%	2%
⑬	あなたは、係の仕事やそうじ、委員会活動、家のお手伝いなど、自分の仕事をいっしょにうけつめられていますか。		97%	3%
⑭	あなたはみんなのために役に立っていると思いますか。		82%	18%
⑮	あなたは早ね・早起き・朝ごはんなど、生活リズムに気を付けていますか。		88%	12%
⑯	あなたは、熱を測ったり、マスクをつけたり、手を洗ったり、3密に気を付けたりと、感染症の予防などに気を付けていますか。		95%	5%
⑰	あなたは、運動することが好きですか。		93%	7%
⑱	あなたは、交通ルールを守る・ろうかを走らない・危ない遊びはしないなど、安全に気を付けて生活していますか。		95%	5%
⑲	あなたは、自分の健康のことを考えて、給食など、すぎきらいなく食べるようにしていますか。		89%	11%
⑳	あなたは、家で、パソコンやスマホ、テレビゲームなどのルールを守っていますか。		88%	12%
㉑	あなたは、こまったことやなやみなど、先生に相談できますか。		81%	19%

- ・④読書活動27%が特に低い評価となった。(昨年度と同じ)

- ・⑤英語学習19%、⑪先生への相談、⑭有用感18%が低い評価であった。

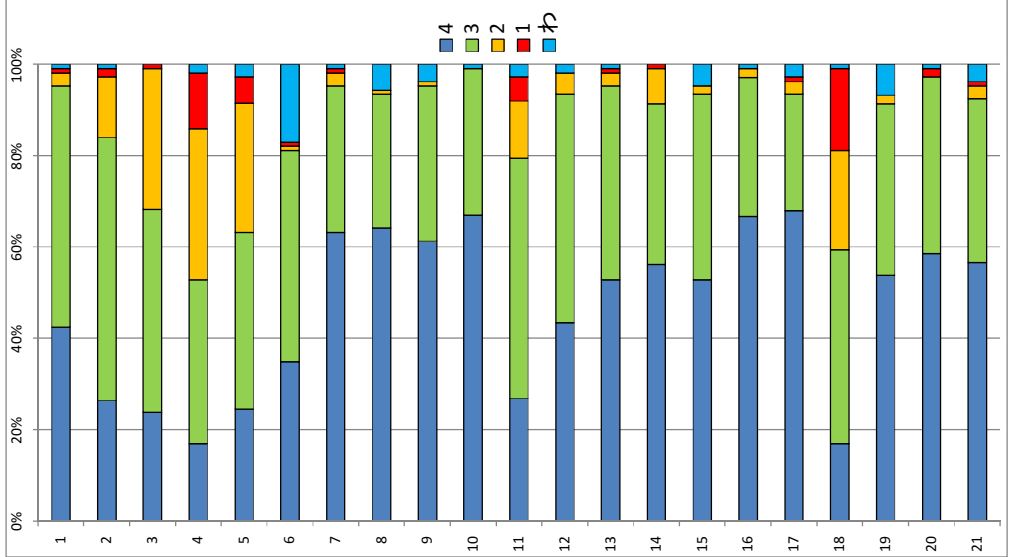
・③家庭学習13%、⑮生活リズム12%、⑳メディアルール12%、㉑給食好き嫌い11%が他と比べて低い評価だった。



令和5年度 保護者アンケート

4 = 二そう思う 3 = ニやややそう思う 2 = ニあまりそう思わない 1 = ニそう思わない

R05 保護者による評価		肯定	否定
①	お子さんは、学校の授業がわかっていると思いますか。	95%	4%
②	お子さんは、学習規律が身に付いていると思いますか。	84%	15%
③	お子さんは、積極的に家庭学習に取り組んでいると思いますか。	68%	32%
④	お子さんは、意欲的に読書活動に取り組んでいると思いますか。	53%	45%
⑤	お子さんは、英語に対して、興味や関心を持っていると思いますか。	63%	34%
⑥	学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組んでいると思いますか。	81%	2%
⑦	お子さんは、学校で、友だちと仲良く楽しく生活していると思いますか。	95%	4%
⑧	学校は、子どもがルールを守って、よりよく生活できるように、生活指導に取り組んでいると思いますか。	93%	1%
⑨	教職員は、お子さんのことをよく理解し、適切に評価していると思いますか。	95%	1%
⑩	お子さんは、学校行事や児童会活動に意欲的に取り組んでいると思いますか。	99%	0%
⑪	お子さんは、しっかりと挨拶ができていますか。	79%	18%
⑫	お子さんの思いやりの心は、育っていると思いますか。	93%	5%
⑬	お子さんは、学校や学級、家庭の中で、居場所があり、自分がかんばっている、自信が持てていると思いますか。	95%	4%
⑭	お子さんは、『早寝早起き・朝ご飯をしっかりと食べる』『コロナ感染症の予防』など、健康に気をつけて生活していると思いますか。	91%	9%
⑮	学校は、子どもの体力づくりの指導に取り組んでいると思いますか。	93%	2%
⑯	学校は、子どもの交通安全や校内生活の安全確保に努めていると思いますか。	97%	2%
⑰	学校は、給食指導などを通し、子どもの心身の基礎をつくる食育の充実に努めていると思いますか。	93%	4%
⑱	お子さんは、家庭の中で、パソコンやスマホ、TVゲーム等のメディアの使用に関するルールを守れていると思いますか。	59%	40%
⑲	教職員は、お子さんや保護者の相談や悩みなどに適切に応じていると思いますか。	91%	2%
⑳	学校は、家庭に適切な情報発信・情報提供を行っていると思いますか。	97%	2%
㉑	学校は、地域の環境や人材を活用した教育活動を行っていると思いますか。	92%	4%



わからない

1%

1%

0%

2%

3%

17%

1%

6%

4%

1%

3%

2%

1%

0%

5%

1%

3%

1%

7%

1%

4%

- ・④読書活動45%、⑧メディア使用40%が、特に低い評価だった。読書活動は重点的に取り組む必要がある。メディア使用については家庭の理解・協力を得ながら進めていく。
- ・③英語活動3%、⑤家庭学習32%についても低い評価だった。学校での英語、英語活動の取組や学習スタンバイなどの取組を発信していく必要がある。
- ・⑧いじめの取組について、「わからない」17%と多かった。学校での取組や生活アンケートの結果などを引き継ぎ家庭に伝えていく必要がある。
- ・各項目とも「わからない」を選択する保護者がいた。学校の様子、学校の教育活動等について、保護者へ知らせる工夫が必要である。

記述（概略）（16名）	
肯定的な記述	生徒のことを本当によく見てくれていきます。感謝しかありません。いつも本当にありがとうございます。
	1学期は友達関係でいろいろありましたが、先生方が迅速に対応してくださり、ありがとうございます。
	一年生は少人数ですが、入学したときからそのことを感じないくらい、毎日楽しそうに学校に通っています。先生方や同級生はもちろん、新入生を暖かく受け入れ、手を差し伸べてくれる上級生がいるからと感謝しています。ありがとうございます。
	子供や保護者に寄り添っていただき、感謝しております。今後もしろしくお願いします。
	返信が遅くなり、すみませんでした。 2
課題的な記述	特になし 2
	先生方は子どもたちに対してよく向き合ってくれていると思います。一方でいじめや安全対策など項目で見ると、家庭側からするとわからない部分も多く、両極端の部分もあるのかなと感じます。
	入学した際、コロナ禍だからなのか、児童が挨拶しても返事がかえってこないことに違和感を感じました。最近になって少しずつ挨拶を返してくれるようになりしましたが、今でもセーフティパトロールの方が挨拶したり、話しかけてもほぼ無反応です。自分の子どもも含めて、今時の子と考えると良いのか。
要望的な記述	学童評価のアンケートも実施して欲しい
	毎年、学年毎にお弁当を持って遠足の体験をいれてほしい。自分の小学校時代と比較し社会体験が少ないように感じる。
	アンケートに名前を書く欄があると匿名性が無くなり、回答しづらくなる。 子供が元気に登校しているのので、校内活動に不満は無いが、いじめ、体力作り、生活の安全についてや、学校からの適切な情報発信などの項目をどう評価して良いか悩む。